

まっすぐに、しなやかに。

埼玉県立熊谷女子高等学校は、明治44（1911）年に埼玉県立熊谷高等女学校として創立され、今年で112年を迎える県内有数の伝統校です。卒業生は、約3万7千名を超え、多くの卒業生が政治・経済・文化・教育など様々な分野で活躍しています。綺羅星のごとく輝く卒業生たちが、朝日新聞「青春スクロール（令和4年2月19日から毎週土曜日に連載）」で紹介されました。

連載された記事から、本校の特色を表す3つのキーワードで熊谷女子高校を紹介します。

1 まっすぐに、しなやかに

本校の卒業生であり、かつて滋賀県知事、現在は参議院議員として活躍されている嘉田（かだ）由紀子さんから、在校生に向けて贈っていただいた言葉です。何事にも意欲的にまっすぐに取り組む生徒の様子、そして先の見えないこれからの時代を生き抜くためのしなやかさも表しています。

2 かざさん花の冠を

本校校歌の一節です。「花の冠」は夢・希望・目標を、「かざさん」は常に追い求めていこうという意味です。まっすぐに夢や希望に向かって進んでいこうとする本校生徒の思いが込められています。このことばは、みなさんが高校生活で何度となく向き合うことばです。すばらしい仲間と充実した高校生活を送ってくれることを願っています。

3 出る杭は打たれない

多くの卒業生がこの言葉を語っているように、本校には、自由で明るい校風のもと、伸び伸びと生徒一人一人を育てる環境があります。どんな困難にもあきらめることなく、チャレンジする気持ち（レジリエンス）を育てます。とことん突き抜ける杭となり、大きな夢をかなえてください。

令和4年3月の進路状況は国公立大学61名、早慶上理15名、GMARCH98名などの合格で、現役進学率91.4%、第一志望実現率は70.1%でした。本校では隔週土曜授業・7時間目・進学補習、ニュージーランド姉妹校との国際交流、京都大学やお茶の水女子大学との連携など学力向上と多様な経験の体制が整っています。さらに、高い指導力と熱意を持った教員が、質の高い授業で一人一人の第一志望実現をサポートします。熊谷女子高校で進路実現の夢をかなえ、本校の新しい歴史をともに刻んでいきましょう。



埼玉県立熊谷女子高等学校長 佐藤 智明

校 歌

紅染めて明けわたる

空よりひろき武蔵野に

彩なす露をしたひつつ

学びの道に進まばや

霞たなびく花影を

朧にうつす荒川の

清き流れを掬ひつつ

やさしき心養はん

かがやく緑木がくるる

教への庭に下り立ちて

溢るる光を仰ぎつつ

かざさん花の冠を

詞・内田常文
曲・信時 潔
(昭和三年制定)